

【保育所版】秋田県福祉サービス第三者 評価結果表

評価実施基準日	平成 23 年 12 月 10 日
評価確定公表日	平成 24 年 1 月 23 日
評価情報更新日	平成 年 月 日

◆ 評価を実施した機関

名称	(特定非営利活動法人) インクルージョン秋田第三者評価研究会
所在地	(〒 010 - 1638) 秋田県 秋田市新屋表町8番19号
TEL	(090) 4553 - 4895
FAX	(018) 828 - 8185
E-mail	incl@kind.ocn.ne.jp
ホームページURL	なし

◆ 評価を受審した事業者

フリガナ 法人名称	(社会福祉法人) 太 東 会
法人 所在地	(〒 010 - 0042) 秋田県 秋田市桜二丁目13番27号
TEL	(018) 884 - 7377
FAX	(018) 884 - 7378
法人代表者	齊藤 俊 雄
フリガナ 事業所名	さくら ^{ホイクエン} 保育園
サービス種別	保育所
管理者名	長谷川 元子
開設年月日	平成 11 年 1 月 1 日 定員数 100 名
TEL	(018) 884 - 7377
FAX	(018) 884 - 7378
E-mail	sakura-hoikuen@sunny.ocn.ne.jp
ホームページURL	

◆ 評価の総評（優れている点、改善を求められる点）

Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

保育理念は、子どもの最善の利益を中心に確立され、わかりやすい内容で明文化されています。また、地域の社会的役割についてもよく自覚され、基本方針や保育目標、職員の行動規範となり組織として実践されています。中・長期計画は、目標や展望を達成するための具体的なものとなっており、数値目標によって実施状況の評価を行えるようになっています。施設長が自らの役割と責任を明らかにすることは、職員からの信頼を得るために欠かせないものです。管理者の役割と責任について、会議や研修の場で表明するとともに職務分担表等に明記することが望まれます。また、遵守すべき法令等のリスト化により最新の内容の把握に努めることが望まれます。

Ⅱ 組織の運営管理

子どもと地域との交流の機会が計画的に設けられ、老人福祉施設の訪問をはじめ中学生や卒園児、未就園児との交流など幅広い活動を通じて、子どもの社会体験の場を広げ社会性を育てる取組みを積極的に実施しています。また、育児相談や一時預かり事業、地域の未就園児への園開放等、保育所機能を地域に還元していることは高く評価されます。人事管理の仕組みとして人事考課制度が導入され、職員個々の目標に対して年2回の指導助言と面接を通じてコミュニケーションの促進が図られています。今後は、人事考課の際の「絶対評価」の基準づくりに取り組むことが望まれます。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

毎年自己評価する仕組みが確立されており、更なるサービスの質の向上に向けて、第三者評価を受審されたことは高く評価します。また、保護者アンケートや保護者面談を通じての利用者の意向把握が適切に実施されているとともに意見箱や連絡帳、保護者面談など複数の相談方法が用意され、意見や要望が述べやすい環境が整備されています。今後は、公共施設へのパンフレットの配置やホームページの開設など利用希望者が情報を入手しやすい取組みが望まれます。さらに、サービス利用開始にあたっては、保育サービスの内容や料金等について保護者等の同意を得たうえで、その内容を書面で残すことが望まれます。

A 子どもの発達援助、子育て支援、安全・事故防止

「和顔愛語」という理念が保育計画（保育課程）の中に反映され、それが様々な会議を通じて現場に行き届いています。「トトロの日」（園外保育）や公園Mapによる地域利用、そして食育と、地域における保育園の役割をしっかりと認識して実践しております。保育園の役割、保育園の現状などを把握し、様々な工夫の後が見られます。こうした点の保護者へのアピールが更なる保護者支援につながると考えます。

※ その他、特記事項

保護者アンケートの回収率（園調査76.7% 第三者調査73%）も高く、保護者の保育への関心は高い。それだけ保育園の役割の重要性が保護者にも伝達されていると考えられます。地域的な特殊性（住宅地）もあると思われませんが、周辺地域とのより深い交流も望まれます。

◆ 細目の評価結果（基本評価55項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
I 福祉サービスの基本方針と組織			
1 理念・基本方針			
(1) 理念、基本方針が確立されている。			
①理念が明文化されている。	Ⓐ・b・c	最も心に残るのは設立時の目標であった親切でよい保育と子どもの成長を大切にす保育を保育者と保護者が共同で大事に守ってきたことでないかと思ひます。(30周年記念誌理事長挨拶)原点を基に「子どもの人権の尊重」と「保護者や地域の人たちとの連携による環境作り」が法人・保育理念として確立、明文化され、入園のしおり、パンフレット、掲示板、玄関口各部屋に掲出されています。	理念に基づいた使命・役割を反映させたいと考えています。
②理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・b・c	保育方針と、法人・保育理念との整合性が確保され、内容もわかりやすく、保護者の理解と職員の行動規範となっており、保育方針、保育目標、職員の心がけ等が入園のしおり、パンフレットに掲載され、掲示板、玄関口各部屋にも掲出されています。	
(2) 理念や基本方針が周知されている。			
①理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・b・c	保育理念、保育方針、保育目標、職員の心がけが、具体的内容で携帯用に工夫、配布され、十分な理解を促すための取り組みが行われ周知されています。	点検・検証し、周知していくように努めます。
②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・b・c	外の掲示板、玄関に大きく見やすく掲示され、入園のしおり、パンフレット等印刷物ホームページで周知されているとともに、入園時やクラス別懇談会で説明され、パンフレット、園だよりが地域に配布されています。	保護者や地域の人たちに理解されるよう努力していきます。
2 計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
①中・長期計画が策定されている。	a・Ⓑ・c	中・長期計画が策定され、理念や基本方針の実現に向けたビジョンが明確にされています。必要に応じての評価・見直しが望まれます。	中・長期計画は5年サイクルで見直し、検討していくように努めます。
②中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・Ⓑ・c	中・長期計画の内容が反映された事業計画が策定されています。数値目標等を設定し、実施状況の評価を行うことが望まれます。	計画実施の点検、評価を行うようにしていきます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(2) 計画が適切に策定されている。			
①計画の策定が組織的に行われている。	a・(b)・c	計画が職員の参画のもとに策定されています。計画、評価、見直しに保護者等の意見を取り込めるような手順の組織化が望まれます。	保護者の意向が反映できるよう、アンケートなどを参考にしながら計画の策定を進めていくようにします。
②計画が職員や利用者に周知されている。	(a)・b・c	理事会報告や事業計画が職員会議で説明されているとともに、継続的な取り組みが行われています。保護者へは園だよりで詳しく報告されています。	継続的に取り組み、園だよりを充実させ、報告していきます。
3 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
①管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	(a)・b・c	管理者の役割と責任は十分に職員に表明されています。保護者アンケートからも信頼を得ていることが伺われます。	役割と責任を明らかにし、保護者からの信頼を得るようにしていきます。
②遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a・(b)・c	コンプライアンスの観点で研修会に参加するなど正しく理解されているとともに、その都度職員に周知され遵守する取り組みが行われています。遵守する法令等のリスト化が望まれます。	職員会議等で周知された遵守すべき法令のリストを作成するようにします。
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
①質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	(a)・b・c	理念や保育方針に照らし合わせた保育サービスの質に関する課題が把握され、定期的、継続的に評価・分析を行うとともに、管理会議、運営会議、職員会議が定期的に行われ指導力を発揮されています。	保育サービスの質の向上に向けた取り組みをして、諸会議等の充実に努めます。
②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	(a)・b・c	人員配置、職場環境等を整え経営や業務の効率化を図り、分析を行い改善に指導力を発揮されています。	情勢を踏まえ、経営改善に努力するようにします。
II 組織の運営管理			
1 経営状況の把握			
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
①事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a・(b)・c	保育事業の動向については、情報誌の閲覧や研修会等に積極的に参加され把握されています。地域や保護者のニーズを把握するための定期的なアンケート調査が望まれます。	地域や保護者のニーズを把握するように努めます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c	入、退園児の状況把握、在園児の移動分析、保育士の要員問題、保育に必要な物品、教材の見直し課題の把握等経営状況を具体的に把握・分析する取り組みが、組織的に行われています。	経営状況を分析し、保育環境などの改善に取り組むようにします。
③外部監査が実施されている。	a・Ⓑ・c	必要に応じて専門機関の指導・助言を受けています。外部監査の実施の検討が望まれます。	将来的に外部監査の実施を検討するようにします。
2 人材の確保・養成			
(1) 人事管理の体制が整備されている。			
①必要な人材に関する具体的なプランが確立されている。	Ⓐ・b・c	中・長期計画に人材育成の重要性が明示されています。必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立されており、それに基づいた人事管理が実施されています。	優秀な人材の育成や人員の確保などに取り組むようにします。
②人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・Ⓑ・c	自己点検自己評価、他者評価が実施されていることは評価できます。人事考課基準の明示が望まれます。	人事考課を積極的に行い、考課基準をわかりやすくするように努力します。
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a・Ⓑ・c	有給休暇の消化率のチェック等就業状況の把握に努められています。個別での面談機会を設けるなど組織内での工夫が望まれます。	職員の就業状況など、細かく把握するよう努めます。
②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・b・c	法制定の各種社会保険以外の福利協会と福祉医療機構の退職金制度加入、職員旅行の補助、年2回の健康診断と追加健康診断料金の半額補助等積極的に取り組まれています。	積極的に取り組んでいきます。
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
①職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・b・c	教育・研修に関する基本姿勢が中・長期計画に明示されています。	事業計画等で職員一人ひとりに対して研修計画を作成し、質の向上に努め、研修結果に基づいて研修を生かすように工夫していきます。
②個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	Ⓐ・b・c	中・長期計画に基づいた個別の教育・研修計画が策定され、計画に基づいた具体的な取り組みが行われています。	
③定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a・Ⓑ・c	園内外研修結果の報告レポート作成が行われています。評価、分析を行い次の研修に反映されることが望まれます。	
(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。			
①実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	Ⓐ・b・c	受け入れ対応マニュアルが整備され、意義や方針が明確に職員に理解されています。	

項	目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
	②実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a・b・c	実習生への育成の取り組みは行われてい ます。実習効果があがるよう、受け入れから終 了時までの各段階を通じての工夫が望まれます。	実習生の受け入れ、育成に積極的に取り組 み、実習の効果があがるように工夫してい きます。
3 安全管理				
(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。				
	①緊急時（事故、感染症の発生時など）の 対応など利用者の安全確保のための体制が 整備されている。	a・b・c	各事故等が発生した時の対応が図式化され、 わかりやすい内容の緊急時対応マニュアルが 整備されているとともに、組織として体制が 整備され機能しています。	子どもの安全確保に努め事故発生時の対応 等、スムーズに行っていけるようにします。
	②利用者の安全確保のためにリスクを把握 し対策を実行している。	a・b・c	業務マニュアルが各項目ごとに作成されてお り、遊具、器具についても点検を行うなど、 チェックリストを利用し、職員にも周知され ています。事故・ヒヤリハット報告が整備さ れ評価・見直しが行われています。	
4 地域との交流と連携				
(1) 地域との関係が適切に確保されている。				
	①利用者と地域との関わりを大切にしてい る。	a・b・c	地域と保育園の相互交流を促進する目的で、 敬老の日のお祝い訪問、施設訪問、もちつき 等が行われています。園外掲示板が設置さ れ、案内や告知に利用されています。	園の行事などに参加してもらい、交流を深め ていきます。
	②事業所が有する機能を地域に還元してい る。	a・b・c	地域への園だよりの配布、ホームページ、月 2回のなかよしタイム、子育てサークル支 援、子育て相談等は、積極的な園の開放・提 供として高く評価できます。	地域の子育て支援に努力していきます。
	③ボランティア受け入れに対する基本姿勢 を明確にし体制を確立している。	a・b・c	受け入れ担当者の設置とマニュアルが整備さ れ、意義、基本姿勢が明文化されています。	担当者を決め、受け入れに努力していきま す。
(2) 関係機関との連携が確保されている。				
	①必要な社会資源を明確にしている。	a・b・c	関係機関・団体の機能や連絡方法がリスト化 され職員間で情報の共有化が図られていま す。	情報の共有化に努め、連携を強めるようにし ていきます。
	②関係機関等との連携が適切に行われてい る。	a・b・c	関係機関・団体との連携体制を図られ、相談 や連絡が行われています。	

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
①地域の福祉ニーズを把握している。	a・(b)・c	多様な地域の子育て支援が行われ、保護者等からの意見や要望等をもとにニーズが把握されています。地域への定期的なアンケート調査が望まれます。	地域のニーズを把握するためにアンケート調査を行い、子育て相談、一時保育、休日保育、園開放などの子育て支援を充実していくようにします。
②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	(a)・b・c	一時保育サービス、子育て相談、休日保育、月2回のなかよしタイム（未就園児と保護者対象に園解放）等積極的に行われています。	
III 適切な福祉サービスの実施			
1 利用者本位の福祉サービス			
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
①利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	(a)・b・c	個々の子どもを尊重する保育理念、保育方針に基づき保育計画が作成され、指導計画の定期的な評価、改定に組織内で取り組まれています。	理念、方針に基づき、子どもや保護者の立場を尊重したサービスの提供とプライバシーの保護の徹底に努めるようにしていきます。
②利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	(a)・b・c	規程・マニュアルが整備され、職員に周知するための取り組みが行われています。	
(2) 利用者満足の向上に努めている。			
①利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a・(b)・c	保護者懇談会や個別面談等で意向が把握されています。意向に関する調査を定期的に行うことが望まれます。	保護者へのアンケートなどで満足度を調査し、サービスの向上に努めていきたいと思えます。
②利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	(a)・b・c	保護者の意向を把握し、子育てに必要な情報が提供されており、意向に関する調査の担当者及び検討会議が設置されています。	
(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
①利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	(a)・b・c	入園のしおりに記載、意見箱の設置、意見・要望等の受付書、連絡帳等により意見が述べやすい環境が整備されています。	保護者の相談、意見、苦情については「ご意見箱」の設置などで取り組み、苦情等に対しては苦情解決の体制を強化し、機能を十分に発揮させるよう努力し、意見などに対して速やかに対応していくようにします。
②苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	(a)・b・c	第三者委員の設置等苦情解決の体制が整備され、苦情を申し出た保護者等に配慮して苦情内容と解決が保護者に報告されています。また、玄関前に大きく、わかりやすく説明した掲示板があり、園だよりにも第三者委員会の開催内容が掲載されています。	

項	目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
	③利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・b・c	対応マニュアルが整備され「意見・要望等の受付書」による意見等の内容とその回答が迅速に保護者に配布され、職員に周知されるとともに保育の改善に反映されています。	①②と同じ
2 サービスの質の確保				
(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。				
	①サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・b・c	自己評価の定期的な実施と秋田県福祉サービス第三者評価推進委員会の認証を受けた評価機関による、秋田県第1号の福祉サービス第三者評価受審保育園として園の質の向上に積極的な取り組みをされていることは高く評価できます。	第三者評価に基づき、園の課題を明らかにして改善策を立てていきたいと思えます。
	②評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a・Ⓑ・c	保育内容の各評価等、自己評価の課題に取り組まれています。取り組む課題の明確化が望まれます。	
	③課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a・Ⓑ・c	保育室内の窓をポリカーボネートに交換、保育室内に給湯器4台設置等の改善が実施されています。改善計画の策定が望まれます。	
(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。				
	①個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・b・c	質の高い保育に向け多様な保育に対応するための実施方法が文書化され、研修や個別指導等によって周知徹底が図られています。	全職員が標準的・均一的なよりよいサービスを提供していくことに努力します。
	②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・Ⓑ・c	必要に応じて見直しが行われています。定期的に検証し見直しを行うことが望まれます。	
(3) サービス実施の記録が適切に行われている。				
	①利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・b・c	個々の子どもの発達状況、保育内容の記録が整備され指導計画に沿って保育が実施され、その結果として子どもの成長・発達が具体的に記録され職員に周知されています。	一人ひとりの記録を整備して、職員間で子どもの状況について共有化を徹底するようにしていきます。
	②利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・b・c	個人情報や情報開示等の規程が整備され、守秘義務の遵守が職員に周知されています。	

項	目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
	③利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a・(b)・c	定期的に職員会議、クラス会議等で検討が行われ情報の共有化が図られています。報告、連絡、相談が更に徹底されるよう望まれます。	①②と同じ
3 サービスの開始・継続				
(1) サービス提供の開始が適切に行われている。				
	①利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	(a)・b・c	パンフレット、園だより等が地域に配布され、ホームページでも広く情報が提供されています。また、入園希望者、見学・保育体験希望者はいつでも対応可能等組織として積極的に情報が提供されています。	ホームページ・パンフなどを利用して情報提供を行っていきましょう。
	②サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a・(b)・c	入園のしおりに基づき説明されています。保育サービスの内容や料金等について、同意を得て書面で残すことが望まれます。	入園時の説明の際に面談録などを作成するように努めます。
(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。				
	①事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	(a)・b・c	保育の継続性に配慮し、必要に応じて保育サービスが提供されています。	転園しても保育の相談に応じるよう、積極的に努めていきます。
4 サービス実施計画の策定				
(1) 利用者のアセスメントが行われている。				
	①定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	(a)・b・c	子どもの身体状況や生活状況等を、園が定めた統一した様式によって把握され記録されています。	児童票などで子どもの状況などを把握し、具体的に保育サービスを行い課題を明らかにするよう努力していきます。
	②利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	(a)・b・c	個々の子どもの児童票や指導計画に、具体的なニーズや課題が明示されています。	
(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。				
	①サービス実施計画を適切に策定している。	(a)・b・c	園児の身体生活状況が把握され、指導計画が定期的に策定されるとともに、日々の保育実践に活用されています。サービス実施計画策定の責任者も設置され、実施計画を策定するための部門を横断した関係職員の合議のもとに手順が定められ実施されています。	実施計画を策定し、保護者の意向が反映できるように努力していきます。
	②定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・(b)・c	定期的に各クラス毎でうち合わせの日時が設定されています。指導計画の見直しについて、保護者の意向把握と同意を得るための手順等が明示されることが望まれます。	

◆ 細目の評価結果（内容評価34項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
1 子どもの発達援助			
(1) 発達援助の基本			
①保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a・(b)・c	保育方針に基づき、年計画を基に月計画、週計画へと適切に作成されています。保護者の意向を考慮するためアンケート調査が望まれます。	定期的なアンケート調査を行い、保育計画やその評価に生かしていくように努めます。
②指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	(a)・b・c	保育計画に基づき指導計画が具体的に作成され、月1回の評価を行い記録され、評価の結果が次の指導計画に生かされています。	
(2) 健康管理・食事			
①登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	(a)・b・c	組織として健康マニュアルが整備され、個々の子どもの健康状態を把握しながら保育が実施され、情報が関係職員に周知されています。	マニュアルに基づき実施していきます。
②健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映されている。	(a)・b・c	健康診断の結果が健診カードを保護者に渡しながらか説明され、必要に応じて受診してもらい保育内容にも配慮されています。健康診断の結果が全職員に周知されています。	検診結果については、検診日当日に伝達し、受診などを促していくように努めます。
③歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映されている。	(a)・b・c	歯科健診カードで結果を保護者に伝達し、必要に応じて受診してもらっています。歯形模型で歯磨きの仕方をパネルシアター、紙芝居で指導されています。歯科健診の結果が職員に周知されています。	
④感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	(a)・b・c	マニュアルが整備されており、発生状況が保護者、全職員に周知されています。	速やかに通知できるようにして行きます。
⑤食事を楽しむことができる工夫をしている。	(a)・b・c	調理の人や食事担当者と連携をとり工夫されています。個人差や食欲に応じて量が加減され、食べ物に関心を持つようにされています。菜園があり、当日収穫された枝豆が食卓に出され、スイカも喜んで食べていました。3、4、5歳児には給食の当番活動があります。お代わりは自由で自分で盛りつけて持っていくます。	食事が楽しめ、食べ物に関心を持つような工夫をしていきたいと思ひます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
⑥子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a・b・c	食育年間計画、給食指導計画、献立作成計画が整備されています。毎日の日誌の食事欄を参考に献立作りを考えています。給食担当者が実際にクラスの喫食状況を見にきています。手作りおやつ、菜園で収穫された野菜等、季節感を大切にされ、子どもが食べる喜びをもてるように工夫されています。栄養士も配置されています。保護者からの評判も良く高く評価できます。	食事担当者が子どもたちの喫食状況を見ながら、献立の作成などの工夫をしていくようにします。
⑦子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a・b・c	給食だよりの内容が充実しており、「食」の大切さが健康、情緒の発達に欠かせないことを知らせています。昼食、おやつサンプルを掲示され、その日の献立や量を保護者に知らせています。要望があればレシピを提供したり懇談会のときに手作りおやつを試食ができる機会が設けられています。	子どもたちの状況をおたよりなどで知らせ、連携していくように努めます。
⑧アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a・b・c	医師の指示書に従って、子どもがストレスにならないようメニューの工夫がされています。全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されています。	医師の指示に従って、全職員に知識や情報が周知されるように努めます。
(3) 保育環境			
①子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c	建物、構築物、それに付随した備品等環境の管理や清掃が行き届いています。寝具の消毒や乾燥を園として定期的に行うとともに、トイレの仕切等の改善検討が望まれます。	構築物などの点検は引き続き行い、寝具などの消毒については検討課題とします。
②生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a・b・c	子どもが安心できる環境への取り組みが行われています。園内に季節感が感じられる装飾等の工夫が望まれます。	季節感をとり入れた保育環境について工夫していくようにします。
(4) 保育内容			
①子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a・b・c	保育方針・年間指導計画に個々の子どもへの理解を深め、受容することの内容が明示され、職員が家庭環境や身体的成長の差等から生じる違いを十分把握され、対応を心がけ、実践されています。	子どもへの理解を深め、一人ひとりに対応し、実践していくようにします。
②基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a・b・c	子どもの気持ちに添うように接したり、年齢に応じた援助、見守りをされています。	一人ひとりの生活習慣を考慮して対応していくことを努めます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
③子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a・b・c	遊具や玩具が整備されているほか、異年齢交流等、子どもがのびのびと自由に遊べるように時間の確保への配慮と環境が整備されています。	伸び伸びと自由に活動できるように努めます。
④身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。	a・b・c	地域の方々と伝統行事を行ったり、散歩を通して自然に触れ、見る機会をつくるなど、様々な取り組みがなされています。	自然と触れ合い、福祉施設や病院などの訪問を通して社会との関わりを深めて行くようにします。
⑤さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a・b・c	年齢に応じたりリズム遊びや自由に踊ったり、歌ったりすることができます。クラス活動の中で年齢に合わせて素材を使って創作され、飾って楽しんでいます。	自由に表現活動ができるようにしていきます。
⑥遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a・b・c	異年齢の子ども同士が遊べる時間や当番活動を通して協力し合う心、思いやる心が育まれるように配慮されています。	仲間を大切に、思いやる心が育つように取り組んでいきます。
⑦子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	a・b・c	子どもの話したい気持ちを受け止め、代弁したり聞き入れるように配慮されています。	理念に基づき、一人ひとりの生きる力、喜びを育てるようにしていきます。
⑧性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a・b・c	男だから、女だからという固定的な対応はしないように配慮されています。	固定的な対応をしないようにしていきます。
⑨乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c	乳児保育のための環境が整備され、個々の子どもに合った配慮に心掛けているとともに、調乳、授乳等のマニュアルが整備されています。	乳児のための環境整備に努めていきます。
⑩長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c	長時間保育には夕食（希望児）を提供したり、子どもの健康や家庭的な雰囲気づくりに配慮されています。クラスの引き継ぎは連絡簿に記入し伝達されています。	延長保育のための環境を整備し、保護者の意見にも配慮しながら進めていきます。
⑪障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a・b・c	施設を使いやすいように工夫したり、訪問相談を受けられたり、園全体で取り組まれています。ケース検討会も必要に応じて開かれています。	園全体で取り組んでいくようにします。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
2 子育て支援			
(1) 入所児童の保護者の育児支援			
①一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	Ⓐ・b・c	必要に応じて個別面談が行われています。送迎時には保護者、保育士双方から話しかけ、会話をされている場面が多数見受けられました。	保護者との日常的な会話や挨拶などを通して、信頼を深め、子育て支援ができるようにしていきます。
②家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	Ⓐ・b・c	必要に応じて児童票に記録されています。	個別面談や懇談会などを通して、情報交換の内容を記録していくように努めます。
③子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	Ⓐ・b・c	懇談会を保育参加型にされ、情報交換や個人面談を実施されています。	
④虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報を速やかに園長までに届く体制になっている。	Ⓐ・b・c	マニュアルが整備されており、情報が速やかに園長に届く体制が整えられています。	マニュアルに添って行っていきます。
⑤虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	Ⓐ・b・c	マニュアル等に児童相談所の連絡先を明示され、照会や通告を行う体制が整えられています。	
(2) 一時保育			
①一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a・Ⓑ・c	通常保育の子どもとの交流に配慮されています。一時保育の記録の整備と、保護者との連携を密にすることが望まれます。	送迎時、保護者と会話を大切にするとともに、一時保育の記録の整備をしていきます。
3 安全・事故防止			
(1) 安全・事故防止			
①調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	Ⓐ・b・c	マニュアルに基づき適切に行われています。	マニュアルに基づいて適切に行います。
②食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	Ⓐ・b・c	食中毒発生対応マニュアルが整備され、嘔吐や下痢時の処理の仕方等を全職員が研修されています。	
③事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c	チェックリストが整備され、定期的に点検を行って事故防止に努められています。	マニュアル、ヒヤリハット（事故記録簿）などで、対応を徹底するようにしていきます。
④事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	Ⓐ・b・c	事故、災害発生マニュアルが整備され、全職員が研修で周知されています。	マニュアルに基づき行動を確認し、迅速に対応できるようにしていきます。
⑤不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	Ⓐ・b・c	マニュアルが整備され、不審者対策の撃退訓練を警察官の指導の基に実施し、日頃より全職員でマニュアルの確認をされています。	